

音楽 授業構想

平成26年10月10日(金) 5校時 第2音楽室
1年3組 (男子16名, 女子17名, 計33名)
授業者: 教諭 佐々木節子

1 題材名 ハーモニーの美しさ楽しさ 「中学生の器楽」から『喜びの歌』

2 教材観

「喜びの歌」は、ド、レ、ミ、ファ、ソの5つの音で演奏できるアルトリコーダー曲である。左手の基本的な運指やタンギングを練習したり、4分の4拍子の拍の流れに合わせて親しみやすい旋律を演奏することで、アルトリコーダー演奏の「楽しさ」を感じることができる。また、ド、レ、ミ、ファ、ソの5つ音を組み合わせることで副次的な旋律をつくり、主旋律と副次的な旋律の重なりを意識させることで「ハーモニー」の美しさにも気付かせたい。

3 生徒の実態

アルトリコーダーは初めてであるが、小学校で学習してきたソプラノリコーダーのタンギングや運指をもとに、アルトリコーダーの学習を進めていきたい。「リズムゲーム」では、4分の4拍子で2小節のリズムをつくったりたたいたりしたり、歌唱教材「主人は冷たい土の中に」では、4分の4拍子ハ長調の2部形式の旋律をつくってきている。同声2部合唱や混声2部合唱の階名唱を通して、「ハーモニー」を体感してきている。

4 本時について

(1) 本時の学習 ハーモニーづくり

(2) 本時のねらい

①「ド、レ、ミ、ファ、ソ」の音の組み合わせを工夫して、副次的な旋律をつくることができる。【音楽表現の創意工夫】

(3) わかる生徒の姿

ハーモニー感のある副次的な旋律を工夫して創ることができる。

(4) 展開構想 ○→主な学習活動 ①→評価場面

学びのステップ	学習内容	指導上の留意点	かかわり合いの形態
導入	○全員でアルトリコーダー曲「喜びの歌」を演奏する。	タンギングや正しい運指、音のピッチに気をつけて演奏できているか。	
学習課題 「ド、レ、ミ、ファ、ソ」の音で副次的な旋律をつくろう。			
第1ステップ	○副次的な旋律のリズムを確認する。 ○「ド、レ、ミ、ファ、ソ」の音をリズムに合てはめて副次的な旋律をつくる。	①観察	グループ
第2ステップ	○副次的な旋律を発表し合う。	①鑑賞・発表・意見交流	全体
ラストステップ	○全員で「喜びの歌」を合奏する ○振り返りを書く。	感想(自己評価含む)用紙で確認する。	個人